

サプライチェーン排出量算定（Scope3）[t-CO2]

算定年度			2023年	2024年	2025年	備考
算定で参照する産連表係数（※2）			3EID 2005		3EID 2020	上流カテゴリについては、主に経費支出額を活動量として集計し、環境省公表の“排出原単位DB”(※1)を参照して算定。
カテゴリ						
上流	カテゴリ1	購入した製品・サービス	73,303.7	77,565.3	52,070.6	
	カテゴリ2	資本財	10,027.9	12,935.0	9,134.8	
	カテゴリ3	Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	194.4	209.0	202.0	
	カテゴリ4	輸送、配送（上流）	12,561.3	15,427.9	5,683.1	算定精度の向上を目的に、2025年より主要運送事業者におけるトンキロ実績（一次データ）を用いた集計へと変更。
	カテゴリ5	事業から出る廃棄物	255.1	281.4	153.6	
	カテゴリ6	出張	70.0	71.3	76.7	
	カテゴリ7	雇用者の通勤	187.3	222.1	204.8	
	カテゴリ8	リース資産（上流）	（※3）			
下流	カテゴリ9	輸送、配送（下流）	-	-	-	算定対象外
	カテゴリ10	販売した製品の加工	-	-	-	算定対象外
	カテゴリ11	販売した製品の使用	-	-	-	算定対象外
	カテゴリ12	販売した製品の廃棄	-	-	-	算定対象外
	カテゴリ13	リース資産（下流）	-	-	-	算定対象外
	カテゴリ14	フランチャイズ	-	-	-	算定対象外
	カテゴリ15	投資	-	-	-	算定対象外
合計			96,599.7	106,712.0	67,525.5	

（※1）排出原単位DB ... 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース」

（※2）2025年度の算定においては、上記DBの改訂に伴う排出係数の低下を反映している。

なお、改訂前の排出係数を適用した場合でも、活動量の減少により排出量は前年比で減少している。

（※3）賃借物件からの排出量は Scope1,2 に計上。